

◇8月の代祷・信施奉献先

▽日本聖公会青年活動のた(6日)

▽在韓被爆者救援のため

▽平和を実現するキリスト者

ネットの働きのため▽名古屋

学生青年センターのため▽聖

公会平和ネットワークのため

◇平和のために祈る

「広島原爆の犠牲者とすべて

の被爆者のため」

日時.. 8月6日(日) 17時

「長崎原爆の犠牲者とすべて

の被爆者のため」

日時.. 8月9日(水) 10時半

「平和を祈る」

日時.. 8月15日(火) 12時

司式・説教.. 大畑 喜道主教

場所.. 聖アンデレ主教座聖堂

主催.. 聖アンデレ主教座聖堂

◇第2回フェスティバル連絡会

日時.. 9月2日(土) 14時

場所.. 聖マーガレット教会

▽アジア学院交流会

日時.. 8月6日(日) 礼拝後

場所.. 東京聖テモテ教会

聖テモテ教会にアジア学院

学生ジェネ=コリスン(リベ

リア)さんが来訪されます。

聖餐式終了後交流会を行

い、ご自身の国や地域の課題、

アジア学院での生活について

お話しを聞く予定です。

▽教会問答をする会

期間.. 2017年9月

2018年1月

日時.. 毎月第2・第4火曜日

19時~21時

場所.. 聖アンデレ主教座聖堂

オフィス

司会.. 太田信三司祭

参加費.. 無料

申込・問合せ: otas.tko@nssk.org

nskk.org fax 03 (6809)

1612

※飛び入り歓迎、できれば事

前に参加表明をお願いします。

教会に送付したチラシのメー

ルアドレスが間違つて掲載さ

れています。正しくはotas

tko@nssk.orgです。謹んで

お詫びし訂正いたします。

◇堅信受領

7月23日 聖マーガレット教会

▽佐保田 京香▽岡野 恵美子

▽岡野 聖大▽下田 瑠夏▽下

田 璃音▽鍵山 謡多(聖マー

ガレット)

◆教役者レクイエム

日時.. 8月16日(水) 10時半

場所.. 聖アンデレ主教座聖堂

説教者.. 大畑 喜道主教

▽司祭 佐久間 吉太郎▽主教 須

貝止▽司祭 関 翔▽主教 今井

正道▽司祭 関 屋 正彦▽司祭 白

井 三 繁▽伝道師 高瀬 茂子

◆とこしえの平安

7月18日 北 達夫(93)

7月20日 北山 文脩(78)

聖ルカ

今週・来週の予定

7月30日~9月9日

- | | |
|----------|--|
| 30 (日) | 聖霊降臨後第8主日
主教巡回 八王子復活教会
下町G教会協議会 (月島) |
| 8月 | |
| 4 (金) | 教区事務所 職員会議 |
| 6 (日) | 聖霊降臨後第9主日
主教巡回 聖マルコ教会
平和のために祈る 広島原爆の犠牲
者とすべての被爆者のため |
| 7 (月) | フェスティバル イベント部会 |
| 8 (火) | フェスティバル 礼拝部会 |
| 9 (水) | 平和のために祈る 長崎原爆の犠牲
者とすべての被爆者のため
教区再編成準備室 宣教牧会エリア部会 |
| 10 (木) | 主事会議 |
| 11 (金・休) | 東日本大震災、また世界各地
の自然災害を憶えて祈る |
| 13 (日) | 聖霊降臨後第10主日
主教巡回 真光教会 |
| 15 (火) | 平和を祈る |
| 16 (水) | 教役者レクイエム |
| 17 (木) | 礼拝音楽委員会 |
| 20 (日) | 聖霊降臨後第11主日 |
| 22 (火) | 財政委員会 |
| 25 (金) | 教区再編成準備室 |
| 26 (土) | 宣教牧会エリアの区分けについての
報告会 |
| 27 (日) | 聖霊降臨後第12主日
主教巡回 月島聖公会 |
| 30 (水) | 信仰と生活委員会 |
| 9月 | |
| 2 (土) | フェスティバル連絡会
(聖マーガレット) |
| 3 (日) | 聖霊降臨後第13主日 |
| 8 (金) | 主事会議
職員会議 |
| 9 (土) | 常置委員会 |

7月22日 廣野 幸子（93）

小金井

7月25日 竹下 美子（76）

聖アンデレ

◇ギリシャ語講座・

日時…9月2日（土）

中級・10時半～

初級・13時～

場所…聖アンデレ・主教座聖堂
オフィス

講師…挽地茂男牧師（日本基督教団千歳丘教会牧師）

主催…聖アンデレ主教座聖堂

「他教区災害情報 災害対応チーム」

～九州北部豪雨～ 九州教

区からの情報を、7月19日災害情報（九州014）で各教会にお送りしています。ご覧ください。またHPにも載せております。

～秋田県雄物川氾濫～ 秋

田聖救主教会から、信徒、教会への被害は無いが、田んぼの冠水など農作物への被害が大きいとの第一報（7月24日）

がありました。

「奉献先紹介」

アジア学院（7月）

アジア学院は栃木県那須塩原市のアジア農村指導者

養成専門学校（栃木県から認可された専門学校）において、主に開発途上国の農村の指導者養成を行っています。

1973年に創設され、今年で44年目を迎えます。

いわゆる座学中心のリーダーシップトレーニングや能力開発ではなく、農村で大きな問題となっている貧困と食

糧問題に具体的に対処できる実践的な技術と問題解決能力を備えた農村の草の根リーダーの養成を行っています。

学院内外の農地で有機農法による食料生産を行い、自分らの食べる食べもの、家畜の飼料、販売用の農産物加工品の材料を生産しています。いのちを支える食べものを大切にする生活（フードライフ）

を基盤に、世界中から集まった仲間との9ヶ月の共同体生活を送りながら、日々体験と実践を重視した研修を行っています。

コミュニティメンバーの国籍は毎年平均して20カ国で、言語や文化的背景はもっと多様であります。世界で起きている諸問題はアジア学院でも起こる可能性が高く、その意味ではアジア学院での生活は世界の縮図とも言えます。研修の対象者は世界の農村から招聘した約30名の農村指導者たちですが、日本人学生、ボランティアやインターン、訪問者として滞在する国内外から集まる青年たちも多く、多文化共生、異文化コミュニケーション、地域研究の格好の学習の場となっています。

9か月間の研修を終えてアジア学院を巣立った卒業生たちは、これまでに57カ国、千3百人を超えます。卒業生

たちはそれぞれの地に帰り、「共に生きるために」というアジア学院のスピリットを携えて、平和で公正な社会づくりに努めています。

学校法人アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

在韓被爆者救援（8月）

1945年8月アメリカの原爆投下により広島では被爆者34万人中14万余人が、長崎では被爆者24万人中7万余人が死亡した。生き残った被爆者は後遺症に苦しみながら、戦争がもたらした悲劇を一身に背負ってきた。この被爆者のうち韓国人が10%にも及んでいる事実を知る日本人はごく少ない。強制連行などの理由で当時、広島・長崎にいた韓国人の中の7万余人が被爆し、4万余人が日本で死亡し、2万3千人が帰国した。在韓被爆者への補償を徹底的に忌避した日本政府の差別的政

の結果、在韓被爆者の多くはまともな治療も受けられず死んでいき、現在は2千5百余人が生き残っている。そのほとんどは韓国南部の陝川（ハプチョン）に住んでいる。とプチョン）に住んでいる。というのは、日本の植民地時代に、陝川（ハプチョン）から多くの人が徴用などで広島に移り住み、原爆の被害にあっ

たからである。現在、韓国で唯一の被爆者看護施設もあることから、「韓国のヒロシマ」とも呼ばれている。大韓聖公会ソウル教区のオモニ（母）会は毎年、陝川綜合社会福祉会館の韓国原爆被害者協会陝川支部を訪問して日本聖公会東京教区からの信施奉献金を渡している。

宣教主事 卓 志雄

〈夏期休業・休刊お知らせ〉

・「教区事務所」は8月14日（月）～18日（金）まで休業

・「きょうくニュース」は8月6日号～27日号まで休刊